

## コレクションづくりの実際

明定 義人(高月町立図書館)

### 0 はじめに

#### 1 リストによる模擬選書

#### 2 図書館の「棚」が物語ること

- 2 - 1 それは「利用者」と「本」と「図書館員」の関係
- 2 - 2 「選書をする図書館員としての私」って何
- 2 - 3 「ねばならない」「こうすべきだ」「どうしてああなのだ」の世界
- 2 - 4 「啓蒙」としての「本」
- 2 - 5 「代案」「対案」のない「批判」の世界
- 2 - 6 「地雷」のことが知りたいのですが.....
- 2 - 7 「棚」は「本の世界」をどのように見せているのか

#### 3 「棚」は仮説であり選択肢である

- 3 - 1 「利用者を否定しない棚」 誰のための図書館なのか
- 3 - 2 利用者の「欲求・欲望」を促すために「棚」はある
- 3 - 3 「欲求・欲望」を「好奇心・知的好奇心」につなげる
- 3 - 4 仮説(予想)をたてて「選書」(実験/検証)をする
- 3 - 5 「本の世界の見せ方」としての「選書+編集(配架・分類)」
- 3 - 6 「選択肢」をどうたて得るのか、が多様性の成否を決める

#### 4 「たのしい」×「わかる」

#### 5 「利用者」「図書館員」×「たのしい」「たのしくない」

#### 6 高月町立図書館の本あれこれ

#### 7 おわりに 「たのしい貸出」に向けて

- 「図書館員は本と利用者をつなぐ」のではなく
- 「図書館員は本と利用者の関係をつくりだす」